

四谷駅前地区再開発ニュース

Vol.3 平成 28 年9月

起工式を開催しました！



9月6日(火)、四谷駅前地区起工式(神事)及び起工祝賀会を執り行いました。これまで権利者の皆様や地域の皆様にご協力頂いた結果です。竣工に向けて社内一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



齋鍬を行うUR都市機構 石渡副理事長

神事にて

現場施工地区内に仮設のテントを建て、約 50 名の関係者出席のもと執り行われました。

鍬入れの儀では、URによる齋鍬(左写真)や施工者によるが齋鋤(いみすき)を行い、また、齋藤源久四谷駅前地区再開発協議会会長は玉串奉奠(たまぐしほうてん)を行うなど、工事の安全を祈願いたしました。

当日は約 20 社の報道関係者が取材に訪れ、当地区に対する関心と期待の高さを伺わせました。

◆メモ◆神事では祝詞(のりと)をあげ工事の安全を祈願し、四方祓(よもぎらい) (土地の四隅のお祓い) などを行うことで土地の神を鎮め、土地を利用することの許しを得ます。諸説ありますが、現在の様式になったのは江戸時代と言われています。

祝賀会にて



神事ののち、ホテルグランドヒル市ヶ谷にて祝賀会を開催し、当日は 100 名を超える方にご出席いただきました。また、当日の会場には竣工後の完成予想模型が置かれ、皆様それぞれが竣工後のくらしを想像されながら、たのしくお話をされていました。



祝賀会にてご挨拶される齋藤源久再開発協議会会長



四谷仮囲いデザイン

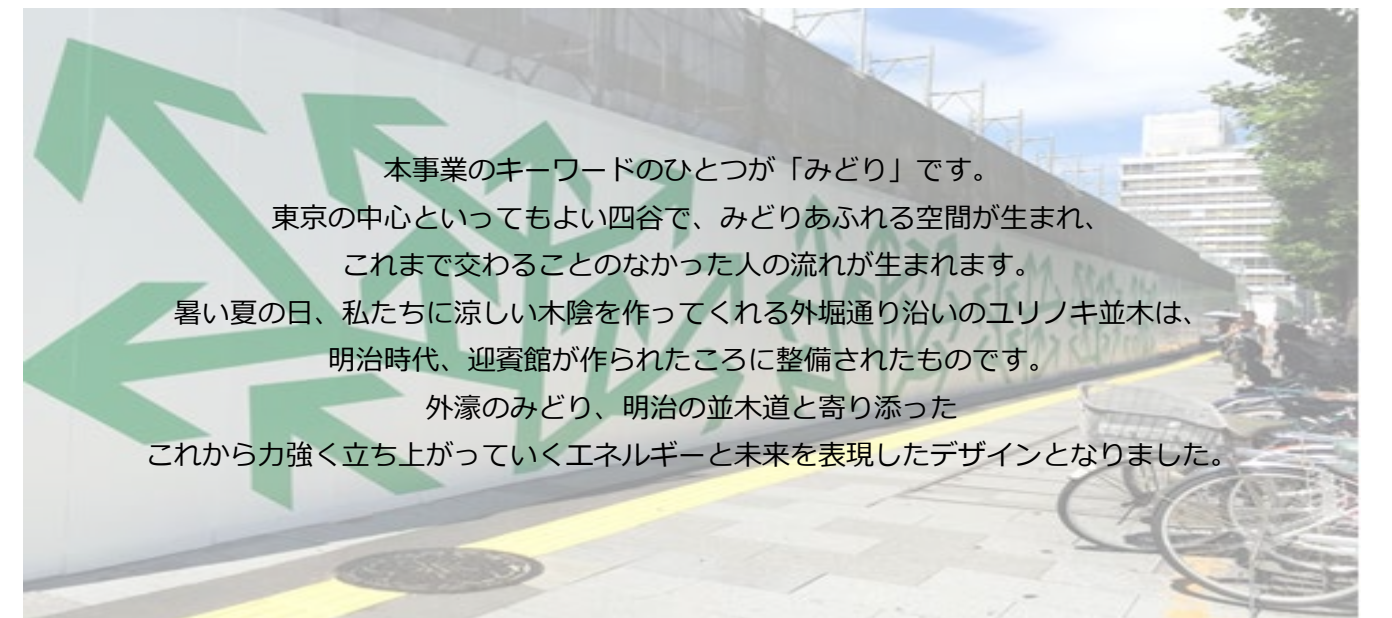


仮囲いデザインとは？

長い工事期間中、白い仮囲いを置くだけでなく、道行く人の目を楽しませ、周辺地域の方も「これから何ができるのだろう」と四谷のこれからの期待して頂く環境づくりを目指して、仮囲いにデザインを施しました。



凡例 設置箇所： →



お問い合わせ先・発行

独立行政法人都市再生機構 四谷駅前再開発事務所

[担当] 佐々木、山城、佐藤 【電話】 03-5269-0341